

## 8 地域における本を読む力を育てる機会の提供

子供が目的に応じて本を読むことができるようになるためには、学校教育における取組に加え、地域においても一人一人の子供の読む力に応じた読み聞かせやブックトークなど、ボランティアとの連携によるきめ細やかな取組が行われていくことが重要です。

### 目標

#### 【目標①】ボランティアのスキルアップ・交流のための支援

☑県が企画するボランティアのスキルアップ・交流の場への全市町からの参加を目指します。

### 現状

▼県立図書館では、ボランティアのスキルアップのための講座を行っています。また、ボランティアも、市町において、自らのスキルアップの研修会や講習会を実施するとともに、学校において、朝の読書の時間や昼休憩における読み聞かせや、学校図書館の環境整備など、子供の読書活動推進のための多様な活動を行っています。

### ～ 目標を達成するための具体的な取組 ～

#### ➤ ボランティアのスキルアップ・交流の場を提供します！

○ 学校、家庭、地域が連携して子供たちの本を読む力を育てる取組を進めていくためには、ボランティアとの連携が必要です。

学校や公立図書館では、多様なボランティア活動を行うための機会や場所を提供し、それらの活動を円滑に行うために、スキルアップのための研修や情報の共有化を図る必要があります。

- ・ ボランティアが活躍できる場が増えるよう市町に働きかけるとともに、スキルアップや交流の場を設けます。
- ・ 県立図書館では、市町立図書館が行うボランティアの養成講座の研修内容等について支援を行うとともに、「子供の読書活動ボランティア養成講座」で開発したプログラム等の積極的な提供を行います。



「県立図書館おはなし会ボランティア研修」

テレビ局のアナウンサーを招いて、絵本の読み聞かせのための発声について学んでいます。